

(1)



No. 113 (平成25年3月1日)

おもな内容

随想	ページ
随想	1
研修講座寸描 その3	2~5
出前講座寸描	5
研究員の実践	
研究協力校授業	6~8
平成25年度研修講座開催一覧	9
お知らせ	10

NIE実践指定校として、本年度から取組を進めています。各社の新聞を図書室に保管・整理し、教材や学級指導、生徒の閲覧などに活用しています。写真は、昼休みの図書館開放で新聞記事を話題に交流を深めている様子です。(旭川市立旭川中学校)

随想

「旭川教育の日」に思う



旭川市教育委員会

委員長 金丸浩一

「すべての旭川市民が、教育についての理解と関心を高め、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を担い、互いに協力し合い、旭川の子どもたちは旭川市民の手で、はぐくんでいく」という思いをもって、毎年十一月第三日曜日を「旭川教育の日」とすることを、ここに宣言します。」

昨年十一月十八日、「旭川教育の日」推進協議会によって、「旭川教育の日」の制定宣言がなされた。教育大生が、旭川の市樹であるナナカマドをモチーフに制作したというシンボルマークは、幾つもの赤い実を付けていて微笑ましい。

この推進協議会には、学校教育、社会教育、社会福祉等に関係する二十五を超える団体が名を連ねており、事務局では今後幅広く様々な分野の市民・団体に参加を呼びかけるといふ。

このような宣言が、市や市教委、市議会といった機関によらず、「旭川の子どもたちは旭川市民の手で」という趣旨に賛同し、市教育の更なる発展を願う団体市民によって、草の根運動として実現したことは、特筆すべきことだと思う。また、事務局を務める旭川教育振興会が、「子どもたちに夢と希望をはぐくむ環境づくり」を活動方針に掲げ、学校、家庭、地域の「架け橋」となるべく、長年にわたって地道な活動を積み上げてきた、その縁の下の労にも敬意を表したい。

人間として社会人として長い人生を生き抜いていく、その土台となるよう体と心と頭に十分な栄養を蓄えるべき子供時代に、その子供時代だからこそ必要な遊びや学び、試行錯誤や経験をさせることが難しい状況と空気が子供たちの周りを覆っている。何より、人間らしい心をはぐくむ土壌がやせ衰えているように見える。

このような中であって、子育てや教育の主要な場である家庭、地域、学校は、単独ではなく、手を携え総合力を発揮して、子供たちの身近にある環境を整える教育に当たる必要がある。そして、その取り組みの過程や成果を通して、互いに尊敬と信頼の関係を深めていくことが望まれる。教育の専門家である教師は、喜んでその先頭に立ち、誇り高く教育実践の汗を流すはずである。成長する子供たちの姿に励まされながら。

「旭川教育の日」が制定された意義は小さくない。子育てや教育は日常的に行われているが、その日は、三者それぞれの取り組みや成果、楽しさや悩みの幾つかを語り合ったり、互いの役割を確かめ合ったりできる。次へのヒントに出会うかも知れない。そして広く市民が、豊かな社会の存立基盤である教育の重要性を認識し、更に関心を高めていく。

教育と文化の街旭川に点つた新しい希望の灯に、期待が膨らむ。
(上川教育研修センター組合教育委員会 委員長)



一月十七日に書き初め集会を実施しました。全校児童十三名が体育館に集まり、一斉に書きました。書いた文字は、一人一人の児童が自分で決めました。どの児童も、力強く生き生きとした書きっぷりでした。(上富良野町立東中小学校)

センター日誌

- 11月14日 研修事業拡大会議
- 12月11日 冬季拡大研究会
- 12月17日 センター運営協議会
- 12月25日 1月10日
- 1月9日 研究室冬季集中研
- 1月28日 センター組合教育委員会会議
- 2月5日 センター研究発表会
- 2月18日 センター組合議会定例会
- 3月1日 センターだより第113号発行
- 3月29日 平成25年度研修講座開催要項
- 平成24年度研究紀要第38号発送

22 音楽科実技 8/28

杉江 光教授(教育大)
児玉かおり教諭(北星中)
平澤 香織教諭(北都中)

講師

東栄小学校 石戸谷和利

歌唱の際の正しいフォームや発声の仕方など、実践に生かせることを多く学ぶことができました。また、歌唱指導は、かに歌詞をイメージし、気持ちを考えて歌えるかが大切であると学べました。ご指導していただきありがとうございます。(旭川市立)



講座の様子から

研修講座寸描 その3



23 体育科実技 8/28

三浦 裕准教授(教育大)
山田 宏紀教諭(北光小)

講師

(旭川市立西御料地小学校 西村 美樹)

本講座では、指導要領の体育の目標や内容について、具体的に教えていただき、大変参考になりました。研究授業では、子ども達が楽しみながら取り組む姿から、場の工夫や補助の大切さを学ぶことができました。ありがとうございました。

24 学級活動 8/29

石ヶ森孝順教頭(正和小)
近江 正規教諭(北鎮小)

講師

渡辺 葵

特別活動としての学級活動の役割と、話し合い活動の過程や方法について基礎・基本から学び直すことができました。それらの実践的な手立てを現場に還元していきたいと思えます。丁寧なご指導ありがとうございました。(旭川市立緑が丘中学校)



26 書写実技 9/11

小原 正作校長(向陵小)
小林 聰枝教諭(北都中)

講師

(旭川市立永山西小学校 竹内 瑛美)

書写の授業における課題解決型の授業の実践、視聴覚教材の活用、自己評価と相互評価の仕方など、すぐに授業に役立つ大変有意義なものを学ばせていただきました。豊富な資料でわかりやすくご指導いただき、ありがとうございます。

(3)

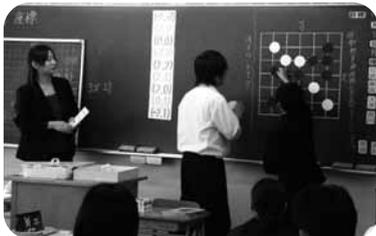
2 学級経営 10/ 3

日比野正人 教頭 (台場小)
石川 裕司 教諭 (北鎮小)
鈴木 一朗 教諭 (西御料地小)
高綱 智美 教諭 (明星中)

講師 II

学級経営の基本的な考え方や、教科指導における学級経営の視点について、講師の先生から大変参考になるお話を聞くことができました。今回ご指導いただいたことを、学級の子どもたちに還元していきたいです。ありがとうございました。

(旭川市立永山南小学校 川田 恵子)



16 生徒指導 10/11

菅藤真由美 教頭 (光陽中)
十河 史 教諭 (豊岡小)
佐藤 研二 教諭 (緑が丘中)

講師 II

(富良野市立富良野東中学校)

北島 慎也

今回の研修講座では、授業を通して行う生徒指導の大切さを改めて実感することができました。やはり、教育活動を行う上で、生徒との信頼関係は必要不可欠だと感じることができました。ご指導ありがとうございました。



18 道徳教育 10/19

竹本 克己 教授 (教育大)
及川 勝也 教頭 (春光小)
町田 涼介 教諭 (朝日小)
白井 洋志 教諭 (永山中)

講師 II

本講座では、道徳教育についての基本的な考え方や課題、そして、その可能性まで、幅広く考えることができました。

また、思いがまつた授業を見せていただき、今後への意欲となりました。素晴らしい研修をありがとうございました。(旭川市立東五条小学校 小林 豊)



27 社会教育 9/20

馬場泰栄 研究研修主事
(北海道立教育研究所附属
情報処理教育センター)
宮本秀貴 氏
(家庭教育サポート企業
株式会社メディア代表取締役)
諏訪清隆 氏
(日本赤十字社
旭川赤十字病院 小児科部長
NPO法人子どもメディア
インストラクター)

講師 II

(旭川市立旭川小学校 宮本 孝嗣)

ネットなどのメディアの危険性について様々な事例を通して学ぶことができました。学校だけでなく家庭や地域と連携した情報モラル教育の展開が必要だと痛感しました。大変有意義な研修になりました。ありがとうございました。



28 図工・美術科実技 10/ 2

名達 英詔 准教授 (教育大)
 大山みのり 教諭 (愛宕小)

講師 II

講義・授業参観・研究協議・実習と内容の濃い一日でした。特に授業では、教師と子どもが丁寧に問答を繰り返しながらイメージを具体化することで、子どもが自信をもって生き生きと活動する姿が見られました。ありがとうございました。

(占冠村立占冠中学校 小瀬 知里)



29 校内研修 10/ 3

佐藤 浩徳 教頭 (名寄東小)
 岡 栄樹 教諭 (神楽小)
 三上 大輔 教諭 (神楽小)

講師 II

本講座を通して、校内研修の基本的な考え方を再確認できました。とりわけ、子どもの変容を目指す研修の進め方や日々の実践の工夫について教えていただき、自校の研修活動を充実させる上で、とても参考となる講座となりました。(旭川市立神居中学校 田辺 修司)

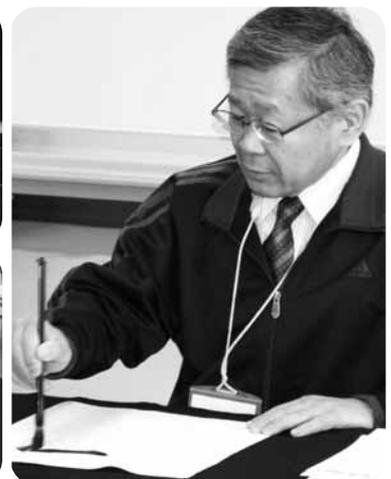


30 保健安全指導 10/ 4

田崎 順子 栄養教諭 (高台小)
 成田麻友子 教諭 (東明中)

講師 II

小学校のランチルームでの食育指導や中学校のお弁当作り指導計画等を拝見して大変参考になりました。自分の問題点やこれからの課題について具体的に気付く事ができました。参加者の皆様、貴重で有意義な時間をありがとうございました。(旭川市立旭川小学校 長野 美保)



31 書に親しもう 1 / 7

小嶋 康博 校長 (東明中)

講師 II

書の作品制作のイロハを教わり、自分が書きたい言葉に思いを託し、イメージを膨らませ筆で表現する・・・無からの始まり、形のないものを創る苦しみ難しさ、それが楽しさへ変わる瞬間を小嶋校長先生のご指導で体感させていただきました。(旭川市立旭川第一小学校 早勢 陽子)



(5)



です。

32 絵に親しもう 1 / 7

中村 靖 教諭 (東陽中) 講師 II

参加者全員がものすごい集中力で黙々と作品づくりに取り組みました。誰にかこうか、何てかこうかと考えながら絵に描く物や風景を見たり、おくる相手に思いを馳せたりすることで心や目が肥えると感じました。何より楽しかった

(当麻町立当麻小学校 東海林敦子)

33 ミニ道研 1 / 8・9

中川 圭介 研究研修主事 (北海道立教育研究所) 企画・研修部
木野下尚大 研究研修主事 (北海道立教育研究所) 企画・研修部

講師 II

竹内 静

言語活動の充実と学習評価について学びました。言語活動は、思考力・判断力・表現力等を育むための手段であること、評価と評定に関する共通認識や目標・指導・評価の一体化が重要だとわかりました。二日間、ありがとうございました。(名寄市立風連日進小学校)



美深中学校「特別支援教育」 9/27



(美深町立美深中学校 松村 愛里)

【講師】小出雅之 教諭(東光中) 講話の中で、特別支援の子ども達が持つ「困り感」に、「安心感」を保障してあげることや、「イケテル感」の育成のきっかけとして、ジャグリングの実践等、さまざまな方法を学ぶことができました。ご指導ありがとうございました。

特別支援学級生徒への指導の在り方を学びたい

多寄小学校「小学校外国語活動」 10/15



(土別市立多寄小学校 小笠原佑太)

【講師】小山俊英 教諭(北光小) 小学校外国語活動の在り方を学びたい 模擬授業を通して、外国語活動の授業をする際に大切なポイントやアクティビティを教えてくださいました。どれも今すぐ実践できるものばかりでしたので、今後の授業に生かしていきたいと思えます。ご指導ありがとうございました。

出前講座寸描

名寄南小学校「生徒指導」 10/31



(名寄市立名寄南小学校 高橋 賢祐)

【講師】西分健二 教頭(永山西小) 生徒指導問題事例とその対処法を学びたい 講話を通し、指導の意義、児童理解の大切さ、自己指導力や対人関係力の育成の必要性など、「生徒指導」に対する理解が深まりました。若い教員が多い本校にとっては大変意義深い研修となりました。ご指導ありがとうございました。

豊岡小学校「生徒指導」 12/7



(旭川市立豊岡小学校 山本 宗明)

【講師】小田嶋智一 教諭(神居東中) 児童生徒理解及び生徒指導の機能を生かした指導の実践について学びたい エンカウンターのご指導ありがとうございました。活用する仕方を考えながら、ついエクササイズを楽しんでしまいました。紹介していただいた文献を参考に、ねらいにあったエクササイズを探し、生徒指導に生かしていきたいと思えます。

上川教育研修センターでは、理論研究と実践検証を行った結果、次のような成果と課題を明らかにすることができました。

成 果

- 関心・意欲・態度，知識・技能，考え方などの力をバランスよく指導計画に位置付けることが目標達成につながった。
- 目標と関連付けて，評価規準を児童生徒の姿として設定することで指導内容を明確にした。
- 分類したことやキーワードを板書に整理することで，思考の流れが分かりやすくなった。
- 個への支援，全体への支援を指導案に位置付けることが目標達成の有効な手立てとなった。
- 評価場面を複数回設定することや評価対象を絞ることが効率的・効果的な評価となった。

課 題

- より児童生徒の思考の流れに沿った，問題解決的な学習過程の充実。
- 児童生徒の思考の流れを分かりやすく整理する，板書とノート指導の関連。
- 見えにくい学力の評価方法や評価場面の充実。
- 学習評価シートを活用した効果的・効率的な評価の進め方についての一層の改善。

詳細は、3月発刊の研究紀要第38号をご覧ください。

研究室だより

今、研究室では

第十五次研究 二 年 次

研究主題 「学力の確実な育成を図る指導と評価の在り方」

↳ 目標達成に向けた授業構築

研究員の実践

絵からイメージする「様子」と「音色」を

関連付けて考えさせる発問の工夫

旭川市立共栄小学校一年 音楽科「いろいろなおとにしたしもう」

の様子に合わせた音を工夫して音楽づくりをする学習

研究員 相澤 朋子

一 本時の目標と授業仮説

本時の目標を「すずやトライアングルの様々な音色を聞き取り、それらの働きが生み出す音色の違いやおもしろさなどを感じ取りながら、星空の様子に合う音の出し方を工夫して、楽しむことができるようにする。」とした。また、絵からイメージする「様子を表す言葉」と「音色を表す言葉」を関連付けて考えさせる発問を工夫することにより、星空の様子に合う音を鳴らして楽しむことができ、目標を達成できると考えた。

二 授業仮説に基づく分析

主発問により、「キラキラキラ」「キラリン」「キラリン」などのように、鳴らしたい音をより具体的な言葉でイメージすることができ、音を鳴らすときのきつかけをつくることができた。さらに、全体で鳴らし方の工夫を交流する場面を設定することで、音色の違いや面白さを感じ取りながら星空の様子に合う音の出し方を工夫して楽しむことができた。

三 本時の目標達成状況

主に、星空の様子に合う音づくりをする場面において、目標達成状況を評価した。すずやトライアングルの様々な特徴を聞き取り、それらの働きが生み出す音色の違いや面白さを感じ取りながら、星空の様子に合う音の出し方を工夫して楽しむことができ、目標を達成することができた児童は、100%であった。



**研究員の
実践**

「文字式の文字や数、単位に着目した
考え方を整理する板書の工夫」

旭川市立旭川中学校一年 数学科「文字と式」
「文字を用いた式の意味を考え表現する学習」

研究員 菅原 大

一 本時の目標と授業仮説

本時の目標を「文字や数、単位に着目した話合いを通して、文字を用いた式の意味を捉え、式が表している数量関係を考えることができるようにする。」とした。また、様々な考え方に基づく文字式の比較・検討の際に、文字や数、単位に着目した考え方を板書で整理することにより、式の意味や数量関係を捉える手がかりを考えることができ、本時の目標を達成することができると思えた。

二 授業仮説に基づく分析

文字式の比較・検討の際に、生徒から出された考えのメリットを赤で、デメリットを黄色のチョークで色分けして板書することで、文字の意味を考えるための手がかりを見いだすことができた。また、黒板にまとめた考え方の手がかりを基にすることで生徒は、様々な単位で表されている文字の式の意味を考えることができた。

三 本時の目標達成状況

今回は、数学的な考え方の高まりを判断するために、A「十分満足できる」とB「おおむね満足できる」の評価問題を二つ用意し、目標達成状況を評価した。練習問題一を全て正解し、目標を達成することができた生徒は、81%であった。なお、81%のうち、練習問題二を解くことができ、A「十分満足できる」と判断される生徒は、41%であった。



**協力の
実践**

「弁別理由を図形の要素に着目し
説明させる工夫（言語活動の設定）」

旭川市立青雲小学校二年 算数科「三角形と四角形」
「図形を構成する要素に着目した三角形・四角形の学習」

授業者 辻 郁

一 本時の目標と授業仮説

本時の目標を「図形を構成する要素に着目しながら、長方形や正方形を弁別し、『直角』や『辺の長さ』という言葉を使って、弁別した理由を記述することができるようになる。」とした。また、長方形や正方形の図形を構成する要素に着目しながら、弁別の根拠を説明する言語活動を行うことで、目標を達成することができると思えた。

二 授業仮説に基づく分析

図形を弁別する活動において、授業中に行った形成的評価により、自力解決は困難であると判断したため、集団解決による授業を展開し、長方形や正方形の定義を再確認する発問を行う工夫を行った。また、分類した図形を並べ、形の違いを比較できるように板書を工夫した結果、児童は図形を構成する要素に着目できるようになり、定義や性質を基に図形を弁別することができた。

三 本時の目標達成状況

主に、図形を構成する要素に着目しながら、長方形と正方形を弁別し、「直角」や「辺の長さ」という言葉を使って、弁別した理由をプリントに記述する場面において、目標達成状況を評価した。弁別を正しく行えた児童は、71%であった。71%の児童のうち、図形を構成する要素に着目して弁別した理由を説明でき、目標を達成することができた児童は、41%であった。



協力校の実践

〜児童が比較し、思考できるような発問の工夫〜

旭川市立永山小学校三年 国語科「せつめいのしかたを考えよう」
 ～分かりやすい説明のしかたを学びながら文章を読み取る学習～
 授業者 堀内 章美

一 本時の目標と授業仮説

本時の目標を「接続語に着目して、『すがたをかえる大豆』の分かりやすい説明の仕方について考えながら読むことができる。」とした。また、児童が接続詞を比較し、考えることができるような発問の工夫をすることにより、説明文「すがたをかえる大豆」の分かりやすい説明の仕方を捉えることにより、目標を達成することができると考えた。

二 授業仮説に基づく分析

児童がこれまで作文や日記を書いてきた経験と結びつけて具体的な文を例示し、思考を促すことで、接続詞が段落相互をつなぐときに、順序を表す場合があることやそうでない場合があることを具体的に考えることができた。

三 本時の目標達成状況

主に、学習プリントに分かりやすい説明の仕方を記入する場面において、目標達成状況を評価した。接続詞の使い方に着目し、分かりやすい説明の仕方について書いて発表したりすることができ、目標を達成することができたと考えられる児童は、71%であった。なお、71%のうち、自分の言葉で「分かりやすいわけ」について記入することができ、A「十分満足できる」と判断される児童は、21%であった。



協力校の実践

〜有用な情報を適切に選択できるような発問の工夫〜

旭川市立北都中学校一年 社会科「ヨーロッパ連合への道のり」
 ～EUの地域間格差を資料から読み取る学習～
 授業者 難波 広寿

一 本時の目標と授業仮説

本時の目標を「ヨーロッパ連合の成り立ちとその拡大に関する資料から、有用な情報を適切に選択し、域内における地域間格差を読み取ることができるようにする。」とした。また、有用な情報を適切に選択できる発問の工夫をすることにより、地域間格差に気付くことができ、目標を達成することができると考えた。

二 授業仮説に基づく分析

主発問により、「東ヨーロッパより西ヨーロッパの方が、GNIが多い。」などのように、EU加盟国間の経済格差を資料から読み取り、二枚の資料の比較から、東ヨーロッパの国にGNIの少ない国が多いことに気付くことができた。

三 本時の目標達成状況

主に、EU内の地域格差を読み取る場面において、目標達成状況を評価した。EU内での東西の経済格差を読み取ることができ、目標を達成することができた生徒は、93%であった。なお、93%のうち、二つの資料を比較し、加盟年度が遅い国の方がGNIを低いと読み取ることができ、A「十分満足できる」と判断した生徒は、44%であった。



合い言葉「試そう上川の力で、創ろう上川の力で、生かそう上川の力を」

平成25年度 上川教育研修センター開催予定講座

番号	講座名	期日	研修内容の概要(上段:講座名 下段:平成25年度の重点テーマ)	授業	
1	特別支援教育	5/14 ① 6/14 ②	一人一人に応じた指導の充実を図る特別支援教育 「障がいの特性に応じた指導の充実と校内支援の在り方」 (②で授業研究)	小・中	
2	学校事務実務	5/15・16	教育の円滑化を図る学校事務実務 「学校事務実務における今日的課題～教育予算における現状と今後の課題～」		
3	学級経営	5/17 ① 10/3 ②	子ども一人一人が存在感を実感できる学級経営 「児童生徒相互の望ましい人間関係を育てる学級経営」 (②で授業研究)	小・中	
4	学校経営Ⅰ	6/12	新しい時代に対応した学校経営(採用2年目以降の校長が対象) 「未来を切り拓く活力ある学校経営の在り方」		
5	学校経営Ⅱ	6/13	新しい時代に対応した学校経営(昇任2年目以降の教頭が対象) 「スクールリーダーとしての教頭の在り方」		
6	読書活動	6/19	「読む・調べる」習慣の確立を目指す読書活動 「学校図書館の活用を図る指導の在り方」	小	
7	図工・美術科実技	6/28	豊かな情操を養う図工・美術科実技 「表現力や鑑賞能力を育てる指導の工夫」	中	
8	複式教育	7/3	主体的に学ぶ力を育てる複式教育 「家庭や地域社会との連携を図った活動の在り方」	小	
9	小学校外国語活動	7/4	言語や文化について体験的に理解を深める小学校外国語活動 「中学校外国語科指導との円滑な接続を意識した指導の在り方」	小	
10	指導技術基礎	7/25	指導力の向上を図る指導技術基礎 「基礎的な指導技術～学年・学級通信と教室掲示」		
11	国際理解教育	7/25	国際社会で活躍する人材の育成を目指す国際理解教育 「日本の伝統・文化理解を深める学習指導」		
12	国語科指導	7/26 ① 9/4 ②	伝え合う力をはぐくむ国語科指導 「伝え合う力を高める指導の工夫～『書くこと』における指導」(②で授業研究)	小・中	
13	社会科指導	7/29 ① 10/9 ②	社会的な見方や考え方を育てる社会科指導 「社会的現象を多面的・多角的に追求解決を図る指導(体験的な学習)」(②で授業研究)	小・中	
14	算数・数学科指導	7/30 ① 8/30 ②	目的意識をもって主体的に取り組む算数・数学科指導 「見通しをもち筋道を立てて考え表現する授業の在り方」(②で授業研究)	小・中	
15	理科指導	7/31 ① 9/3 ②	科学的な見方や考え方を育てる理科指導 「生物や生物現象に対する科学的な見方や考え方の育成」(②で授業研究)	小・中	
16	外国語科(英語)指導	7/31 ① 8/29 ②	コミュニケーション能力の基礎を養う外国語科(英語)指導 「『聞くこと・話すこと』の指導と評価」(②で授業研究,小学校外国語活動の授業参観を予定)	中・小	
17	教育講演会	8/1	講師 新井郁男氏(上越教育大学名誉教授) テーマ「これからの教育と学校・教師の役割」(仮)		
18	生徒指導	8/2 ① 10/10 ②	児童生徒の自己実現を目指す生徒指導 「児童生徒理解を深める教育相談の在り方」(②で授業研究)	小・中	
19	幼稚園教育	8/2	小学校への滑らかな接続を目指す幼稚園教育 「連携・交流活動と学びの連続性」		
20	道徳教育	8/6 ① 10/16 ②	豊かな体験を生かす道徳教育 「体験活動を生かした授業の在り方」(②で授業研究)	小・中	
21	技術・家庭科実技	8/6	生活を工夫し創造する技術・家庭科実技 「情報に関する技術」		
22	いじめ・不登校	8/7	一人一人を大切に「いじめ・不登校」を未然に防ぐ指導 「『いじめ・不登校』の予防と対応の在り方」		
23	生活科・総合的な学習の時間	8/7 ① 9/10 ②	気付きの質を高める生活科・探求的な学びを深める総合的な学習の時間 「小・中の連携を図るエネルギー・環境教育の充実」	小・中	
24	音楽科実技	8/28	豊かにかかわり主体的に表現する力を育てる音楽科実技 「器楽の指導法と指揮法の在り方」	小	
25	書写実技	9/11	日常に生きて働く書写力を育てる書写実技 「児童生徒の主体的な学習を喚起する指導と評価」	小	
26	校内研修	9/13	実践的指導力の向上を図る校内研修 「授業研究の進め方」	小	
27	保健安全指導	10/4	生命を大切に、豊かな心をはぐくむ保健安全指導 「学校における安全・防災に関する指導の在り方」	小	
28	学級活動	10/8	望ましい人間関係とよりよい生活を築く学級活動 「中学校における学級活動の指導の充実」	中	
29	社会教育	10/9	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの生きる力を育む社会教育 「心身の健やかな成長を促す実践～望ましい生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)」		
30	体育科実技	10/17	運動に親しむ資質や能力の基礎を育て、体力の向上を図る体育科実技 「体づくり運動、武道」	中	
31	書に親しもう	1/8	自分なりの表現で書に親しむ文化講座 「心に残る言葉を題材にした小作品づくり」(午前 半日日程)		
32	絵に親しもう	1/8	自分なりの表現で絵に親しむ文化講座 「季節と日常生活の温もりを題材にした色鉛筆・パステル画」(午後 半日日程)		
33	ミニ道研A	1/9	北海道立教育研究所によるコース別研修		
34	ミニ道研B	1/10	～現在、内容等調整中～詳細は4月配布の開催要項をご覧ください～		
35	研修センター研究発表会	2/4	「学力の確実な育成を図る指導と評価の在り方」に関する第15次3か年計画の3年次の研究を発表～センター研究員の実践、研究協力校の実践～		
パソコン実技	A	校務のための表計算入門	5/31 6/14 8/30	成績処理や会計処理をはじめ、さまざまな校務に応じた表計算ソフトの基本的な操作について	
	B	1 校務のための表計算活用	7/12 9/13	成績処理や会計処理をはじめさまざまな校務に応じた表計算ソフトの便利な活用について	
		2 小学校校務のための表計算活用	7/26	小学校の校務に特化した表計算ソフトの便利な活用について	
	C	3 表計算個別課題解決講座	8/2	実際の校務で使っている表計算に関わるソフトやデータなどで困っていることを個別に解決していく	
		D	学校で役立つ画像処理	6/7 10/4	視覚に訴える教材や各種通信、掲示物の作成に活用できる画像処理について
		E	学校で役立つWeb制作	6/28	ホームページの作成方法や管理、個人情報の取扱いや情報発信の在り方について
F		学校で役立つプレゼン活用	7/31 1/14	授業や各種発表会で効果的に活用するプレゼンテーションソフトの活用について	
		学校で役立つ動画編集講座	8/6	動画編集ソフトの基本操作の習得と、編集した動画の活用について	

～正式な日程は、4月にお届けする「研修講座開催要項」でご確認ください。～

平成25年度の講座開設の工夫

- 教育経営研修では、「学級経営」「学校経営Ⅰ」「学校経営Ⅱ」等、受講者のライフステージに応じた講座を開設します。
- 教育課題研修では、喫緊の課題である「いじめ・不登校」の講座の更なる充実を図ります。
- 教科指導等講座では、小中合同で、講義（夏季休業中）と研究授業（2学期・小中各一本）を分離開催し、内容の充実を図ります。
- 実技研修については、研究授業を参観することのできる講座を増やすとともに、アンケートで要望の高い視聴覚機器活用の講座を開設します。
- 「指導技術基礎」講座では、電子黒板の活用と学級通信や教室掲示などの基礎的な指導技術向上のための講座を開設します。
- 出前講座では、学校や地域単位での要望に対応します。たとえば、「教科指導」「特別支援教育」「生徒指導」「小学校外国語活動」「ミニ講演会」「パソコン実技」等皆様のニーズに応じて講座を行います。
- 文化講座では、達成感・充実感に浸れると好評の「書に親しもう」「絵に親しもう」講座を引き続き開設します。
- ミニ道研では、1日単位ではなく、講座ごとに受講できるようにします。
- パソコン実技では、要望の多い「表計算活用」をより受講者のニーズに応えられるよう少人数指導で対応します。また、タブレットPCを導入し、効果的な指導法やマルチメディア教育を研究・推進します。

H25.4.1

研修センターの貸室等のご利用料金が変わります。

- ◎講堂と第1研修室の冷房を使用した場合、冷房料金をいただくことになります。
- (冷房料金は暖房料金と同額で、7月1日から8月31日までの期間に、使用した場合に限ります。また、暖房料金につきましても、寒冷期（10月1日から5月15日まで）以外の期間でも使用した場合は、料金をいただくことになりました。)

貸室冷暖房料

室名	午前 (9時～12時)	午後 (13時～17時)	夜間 (18時～21時)
講堂	1,050円	1,260円	1,570円
講堂A・B	530円	630円	790円
第1研修室	520円	630円	840円

- ◎講堂における拡声設備及びマイクロホンを更新したことに伴い、下記のとおり、貸出料金を改定いたします。ご協力願います。

備品貸出料金

区分	料金	備考
ハイパワーアンプ	一式 420円	新設（拡声設備） 一式にマイク1本まで含みます。
マイクロホン	1本 310円	2本以上使用される場合に、1本ごとに加算されます。

平成24年度研修講座活用

上川管内教職員の1/3の方々が活用

- 講座総受講者数 1,231名
- 出前講座 13団体 272名
- 申込みのあった出前講座
「小学校外国語活動」(2校)
「特別支援教育」(2校)
「体育実技」「生徒指導」(5校)
「ミニ講演会 放課後学習」(2校)
「板書」



開設40周年

平成25年度は開設40周年を迎えます。記念事業として、教育講演会をより多くの人に参加していただきたく、夏季休業中（8月1日）に旭川市大雪クリスタルホールで、開催します。

講師：新井郁男

上越教育大学名誉教授

テーマ「これからの教育と

学校・教師の役割」(仮)

多数のご参加をお待ちしています。

資料をご活用ください

平成24年度は研修センター講座を40講座実施しました。廊下には、講座の様子を掲示しています。また、センター事務室・1F第2研修室には、講義・提言資料に加え、学習指導案も保管しています。どうぞお気軽に足を運び、ご利用ください。

※この用紙は再生紙（古紙70%）を使用しています。

発行日
平成二十五年三月一日

印刷所
上川教育研修センター
〒077-0003
旭川市六条通四丁目
電話（0154）241-2501

責任者
山田尚年
東信印刷株式会社



「書に親しもう」講座
「絵に親しもう」講座
受講者作品展示
1/15～2/5



写真の小宇宙展
10月5日～11月14日



北海道退職校長会
旭川支部写真展
12月3日～12月26日



ギャラリー間(セン)をご利用ください